

標 題 : Frequent Consumption of Sugar- and Artificially Sweetened Beverages and Natural and Bottled Fruit Juices Is Associated with an Increased Risk of Metabolic Syndrome in a Mediterranean Population at High Cardiovascular Disease Risk.

砂糖と人工甘味料で甘味付けした飲料および天然とビン入りの果汁の頻繁な摂取は心臓血管系疾患リスクの高い地中海沿岸住民でメタボリックシンドロームのリスク増加と関連する

---

著 者 : C. Ferreira-Pêgo, et al. (スペイン IISPV (Institut d'Investigació Sanitària Pere Virgili) 医学・健康学部、Hospital Universitari de Sant Joan de Reus ヒト栄養科)

---

掲 載 誌 : J. Nutr. 2016 Jun 29. Pii: jn 230367[Epub ahead of print] (印刷前の電子出版)  
[印刷版は J. Nutr. 2016 Aug; 146(8): 1528-36]

---

要 旨 :

背 景 : 甘味飲料の摂取とメタボリックシンドロームとの関連は、論議を引き起こしている。

目 的 : この解析は、砂糖入り飲料、人工甘味飲料、および天然とビン入りの果汁の摂取とメタボリックシンドロームの発症率との間の関連を、心臓血管系疾患のリスクが高くて開始時にメタボリックシンドロームがない高齢者で評価した。

方 法 : 我々は PREDIMED(PREvención con DIeta MEDiterránea)研究から開始時にメタボリックシンドロームのない 1868 人の参加者を追跡して検査した。  
メタボリックシンドロームを、国際糖尿病連合、アメリカ心臓協会、および国立心肺血液研究所の最新統一基準で定義した。  
エネルギーおよび栄養素の摂取を、認証済の 137 項目の食品頻度アンケートを使用して開始時および毎年評価した。  
メタボリックシンドロームおよびその構成要素の多変量調整 HRs(ハザード比)を追跡中の平均摂取から推計した。  
最高摂取の 2 区分(1-5 および >5 杯/週)と最低区分(<1 杯/週)を、我々は比較した。

結 果 : 合計 930 件のメタボリックシンドローム発症が、中央値 3.24 年の追跡中に記録された。

>5 杯/週の摂取を<1 杯/週の摂取と我々が比較したときに、メタボリックシンドロームの多変量調整 HRs (95%CI)は、砂糖入り飲料 1.43(1.00-2.15)、人工甘味飲料 1.74(1.26-2.41)、天然果汁 1.30(1.00-1.69)およびビン入り果汁 1.14

(1.04–1.65)であった。

結論： 砂糖入り飲料および人工甘味飲料の時々の摂取(1–5 杯/週)は、心臓血管系疾患のリスクが高い中年および高齢者で、メタボリックシンドロームの発症率と関連しなかった。

解析した全種類の飲料の>5 杯/週の摂取は、メタボリックシンドロームおよびその構成要素の一部のリスク増加と関連した。

しかし、砂糖入り飲料およびビン入り果汁についてこの関連を注意して解釈する必要があるのは、この集団中で摂取頻度が低いためである。

この試験は [ISRCTN35739639](https://clinicaltrials.gov/ct2/show/study/NCT01768957) として [clinicaltrials.gov](https://clinicaltrials.gov) に登録された。

著作権 2016 アメリカ栄養学会

キーワード： PREDIMED 研究、人工甘味飲料、果汁、メタボリックシンドローム  
メタボリックシンドローム構成要素、砂糖入り飲料

---